

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年10月25日

計画の名称	千葉県における土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	千葉県												
計画の目標	土砂災害警戒区域等の指定に係る基礎調査を推進し、住民に早期に土砂災害の危険性を周知するとともに、警戒避難体制の充実・強化につなげることで、土砂災害から人命を守り、安全で安心な地域づくりを行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,238	A	3,238	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	県の土砂災害警戒区域の総区域数の推計値11,000箇所のうち、未調査の5,978箇所について基礎調査を実施し、区域指定の推進に努める。 平成26年度末までに実施した調査箇所（見込み）	5022箇所	7863箇所	11000箇所
2	県の土砂災害警戒区域の総区域数の推計値11,000箇所のうち、未調査の5,978箇所について基礎調査を実施し、区域指定の推進に努める。 平成29年度末までに実施する調査箇所数	5022箇所	箇所	11000箇所
3	県の土砂災害警戒区域の総区域数の数値値11,000箇所のうち、未調査の5,978箇所について基礎調査を実施し、区域指定の推進に努める。 平成31年度末までに実施する調査箇所数	5022箇所	箇所	11000箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
その他総合的な治水 事業	A08-001	総合治水	一般	千葉県	直接	千葉県	-	-	砂防基礎調査 総合流域 防災事業	基礎調査	鴨川市外						3,238		策定済	
		1-A1-1 千葉県における土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害対策の推進(防災・安全)																		
												小計						3,238		
											合計						3,238			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 整備計画担当課にて評価を実施。	事後評価の実施時期 令和6年10月
	公表の方法 千葉県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・1-A1-1：土砂災害警戒区域等の指定に係る基礎調査を行い、土砂災害警戒区域等の指定を推進した結果、住民に土砂災害の危険性を周知するとともに、警戒避難体制の充実・強化につなげることができた。 実施した調査箇所H26末：4,551箇所 H31末：10,980箇所
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
高精度な地形情報や市町からの情報提供により抽出した新たな危険箇所について引き続き基礎調査を実施する。 また、地形改変のあった箇所の見直し調査を実施する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	実施した調査箇所	
	最終目標値	11000箇所
	最終実績値	4551箇所
H26末の実績値は5,022箇所に対し、4,551箇所となった。これは、現地調査の地元調整に不測の日数を要し、当初想定していた進捗が図られなかったためである。		
2	実施した調査箇所	
	最終目標値	11000箇所
	最終実績値	9097箇所
H29末の目標値7,863箇所に対し、9,097箇所の現地調査を実施した。		
3	実施した調査箇所	
	最終目標値	11000箇所
	最終実績値	10980箇所
H31末の目標値11,000箇所に対し、10,980箇所の調査を実施した。残り20箇所は開発等による地形変化が現在行われており事業完了後、基礎調査を行う。		